

入札監視委員会における検証概要	
委員の質問・意見	唐津市の回答
<p>1 令和5年1月から令和5年7月までの入札又は契約手続きの運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入札不調の案件はないのか。 ● 不調工事はどのように対応するのか。 ● 災害復旧工事なので、何とかやってもらわないといけない。 佐賀県（の会議でも）よく技術者が足りないと言われている。工事金額だけが問題ではなく、技術者不足が大きな問題になっている。不調工事については頭の痛い問題だと思う。業者も忙しいと思うが、随意契約をしてでも、何とか工事を進めなければいけない。 <p>2 建設工事等競争入札状況の検証について</p> <p>(1) 唐津市モーターボート競走場対岸大型映像装置改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● （工事内容や金額から）もう少し応札者が多 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料1により事務局から説明 ○ 令和4年度全体の不調の状況が年度を通して工事で15.7%、入札件数364件中不調が57件発生した。 令和5年度は9月末時点の数字になるが、工事の入札204件中22件の不調が発生し、不調発生率は10.8%であった。 不調が多かった工種は、土木一式工事が17件で、工事内容は大部分が災害復旧工事であった。 ○ 不調工事については、（設計内容に問題がない場合）入札参加要件を見直して再入札を行うが、工期の関係で再入札を行う時間的な余裕がない場合は、随意契約により工事を進めることになる。 ○ LEDのパネルの耐用年数がおおよそ5

<p>く、競争が働く工事だったのではないかと思っ たが、そうではなかったようである。 今回整備される機器はどの程度持つのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入場者は多いのか。 ● 今回整備する大型映像装置の画面がそのま まスマホでも見られるということか。 ● そうであれば、縮小してもよいのでは。 ● 現在の大型映像装置のスクリーンはどうな るのか。 ● 結成された共同企業体は3つで、要件を満 たす最大数が組めたという状況であるが、資材や 人件費の高騰で、なかなか価格競争に反映でき なかったのが実情ということか。 	<p>万時間と言われている。単純に5万時間を1 日8時間稼働、年間二百数十日で割り戻す と、15年から20年くらいが耐用年数にな る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボートレースの売り上げは好調だが、スマ ホの影響が非常に大きい。そのため、実際に ボートレース場への来場者は、一番活気を帯 びていた昭和50年代頃と比べると、非常に 少ない。 ○ 今回整備する大型映像装置の映像は、唐津 市モーターボート競走場独自の画面になる。 全国に配信されているスマホの情報とは別 である。 ○ 来場者は減っているが、来場者向けのサー ビスとして必要であると考えている。 ○ 現在の大型映像装置のスクリーンは縦8. 8メートル、横12.3メートルであるが、 今回の工事では、既存の大型映像装置の横に ある電光表示板（オッズ板）の筐体を利用し て、縦が約10メートル、横が37メー トルの非常に大きなスクリーンに入れ替えるこ ととしており、より大きな画面でオッズや払 戻金の情報が非常に見やすくなり、また、実 況中継もよりダイナミックな映像が映し出 される。 ○ 映像装置としては使用しないが、スクリー ン自体が防音防風の役割を果たしているた め、建屋自体は残す予定である。 ○ そのとおりである。
---	---

<p>● 資材高騰についてはよく言われている話なので、魅力ある工事にするためには、やはり設計単価への反映にもう少し工夫がいるのかもしれない。</p> <p>(2) 唐津市モーターボート競走場排水機場除塵機改修工事実施設計業務</p> <p>● 本日欠席の委員が選定されているが、おそらく応札者が多いので、落札率も競争が働いたのではないかと、ということを確認したかったのではないかと思う。 今回の除塵機は老朽化していたということだが、初めての改修になるのか。初めての改修であれば、受注意欲の高い業者が多かったのではないかと思う。</p> <p>● コンサルタントとしては設計する際に、予防のために行う工事ということで、受注意欲が高まったのではないかと思うが。</p> <p>● ということは、受注した業者は情報量が多く、自信があったのかもしれない。金額は大きな工事ではないが、積み重なれば何回も何回もやるわけだから、もう少し競争が働いてもよかったのではないかと思う。</p> <p>● この除塵機はモーターボート競走場の中の水の入れ替えもするのか。雨水はどこの雨水が入ってくるのか。</p>	<p>○ 施設の老朽度としては、半世紀近く経った施設である。この施設は、ボートレース場の競走水面の水の入れ替えだけではなく、ボートレース場周辺の雨水排水対策、雨水排水ポンプ場としての機能も持っており、非常に重要な施設である。そのため、故障してから修理をするというのが間に合わない施設であり、そういう意味で予防保全の観点から今回、工事に踏み切った次第である。</p> <p>○ 除塵機自体は全国でも非常に多くの事例があるため、その事例の中から一番適した方式を選択し、機種を選定作業などをコンサルタントに委託をしているという状況である。</p> <p>○ 競走場の水を入れ替える。雨水については、排水ポンプが3台あるが、3台のうちの1台は競走水面の水を入れ替える際に使用している。残りの2台が、モーターボート競走場周辺地区の雨水排水のポンプ場として機能している。1台当たり毎秒3トンという非常に大きなポンプがついており、そのポン</p>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ● その水は松浦川に流すのか。 ● (以前は田んぼでそちらに流れていた排水を逆に) モーターボート競走場から川に流しているということか。 ● しかしあの辺りは結構浸水するのではないか。 	<p>プ1台ごとに除塵機がついているという状況のため、今回3台のポンプに対して3台の除塵機を改修することになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ そのとおりである。取水は松浦川から直接行い、排水は半田川を経由して松浦川に流している。 以前は田んぼだったところが住宅地になっており、(雨水を受け止めることができなくなり) 住宅地の雨水の排水を行う必要がある。 ○ そのとおりである。 ○ 周辺に排水門がある。満潮時はどうしても排水が難しく流れにくくなるが、潮が引いたタイミングを見計らってポンプで排水することになる。
<p>(3) 鏡中学校長寿命化改良他建築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高額工事のため、最低でも2者で競争して欲しいと思う。近年の大型工事としては市庁舎の建築工事や曳山展示場(市民会館)の建築工事があるのではないかと思うが、曳山展示場は完成したのか。 ● そのほか、公民館の建設もあったと思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まだである。 ○ ここ数年では、呼子公民館、浜玉公民館、竹木場公民館、西唐津公民館の建設を行ったその他、西部学校給食センターの建設もあった。 今年度の発注見通しでは、モーターボート競走場の競技部棟改築工事が令和5年度に入札を行う予定ということで、事前に公表している案件になる。そのあたりがここ数年の

<ul style="list-style-type: none">● 市民会館は、どうなっているのか。● 最近の入札案件は1者応札が多く、時代が変わったなと思う。昔はいろんな競争があったと思うが、人口が減り、なかなか競争もできないとなった時に、どうあるべきかと考えなければいけない時代になったのではないかと思う。自分自身、建設業界のことはよくわからないが、人が足りないと言われているが、どのようにしたら人手不足を解消できるのか。いろんな規制があって、請け負うことができる仕事の数が限られているとしたら、もう少し規制を緩和して解決するというように、時代とともに、全国でなくても唐津の考え方として、もっと事業者から意見を聞いて年間の発注計画を立てるなど。競争入札が前提ではあるが、官民が地域のためにコントロールしながら一緒にやっていく、そういう時代になったのかもしれない。そのあたり、建設業者の意見をきめ細かく聞き取りながら、どういうかたちで唐津市として入札関係を行っていくと地域全体にとって良い方向に進むか、といことを考えていく時代になったのではないかと思う。● 入札に参加できる要件として、唐津市内に本店、支店があるということもあるかと思うが、人口減少や労働者不足などを考えると、その要件をもう少し広げるという考えもあるかと思う。● オンラインで何でもできる時代になり、現場監督は現場にいなくても、オンラインを活用することで複数の現場を担当できるなど、そういう取り組みが出来れば、もう少し仕事がやりやすくなるのではないかと思うが、建設業者の方に話を聞くと、現場にいないといけないという	<p>建築一式工事の大型案件である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現在、建設に向けた設計の途中である。
--	---

<p>ことで、そうなってくると人手不足の中、なかなか難しい状況になると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none">● 現場監督は何かあったときに素早く対応するために、やはり現場にいなればいけないのでは。● 現場監督は現場にいていいと思うが、全体的に管理する人はオンラインでもよいのでは。● 唐津市のお金を使うので、地元企業に発注して、地元企業を育成するということはあるかと思うが、人材育成はいろいろなところで行われていると思う。● 建設業界でも海外の人が増えているが、海外からの留学生の活用を考えられないかということで、大学にも即戦力で働いてもらえるような人をどんどん育成してもらえるとありがたい。 また、人手不足ということで考えると、大学生だけではなく、外国でいう就労ビザなんかを日本でも作ることも考える必要がある。現在の技能実習生の制度は就労ビザと実態は変わらないのではないかと思うが、制度が使いづらい。そのあたりが足りないので、唐津市でもそのような人材を集めて、教育し、海外の人がいろいろなところで活躍できるようなことも考えていく必要があると思う。● 日本の若者をもう少し活用することも考えなければいけないと思う。● 何事も教育だと思うが、海外の人は、とにかく残業したいという。日本人と全く違い、3年間しか期間がないため、少しでもいいから残業して、給料を多くもらいたいと考えている。そういう点で意欲が違う。頑張れる人を選びなが	
---	--

<p>ら採用していくと、会社全体への影響も違ってくる。そういう意味では、今の日本の若い人はすぐ辞めてしまう、1年ももたない状況にあるので、そのあたりをどう考えるかということだと思ふ。</p> <ul style="list-style-type: none">● いつまでも外国の人に頼るとするのは、SDGs（持続可能性）の観点からどうだろうか。1年しか続かない若者を一生続くように教育することも大切ではないだろうか。● それも大切だが、時間がかかることだと思ふ。● 日本人は勤勉だったので、何とかならないだろうか。また、現在は建築業界も機械化が進んでいるので、やはり問題は教育だと思われる。● しかし、人口減少は進行しているので、そのあたりの対策を考える必要がある。そのような中、あと10年もすればロボットの時代を迎え、ロボットに頼るしかないという時代が来る。● ロボットを使いこなすためには、勉強が必要で、やはり教育が重要になる。● 入札案件に話を戻すと、1者しか入札がない	<ul style="list-style-type: none">○ ご意見をいただいたいいわゆる就労者の問題というのは、現在、入札を行う中でも入札不調の理由として表立って出てきていない部分もあるが、作業員がいないので工事を受注できないという話が聞こえてきている。実際に就労者をどう確保するかというところについては、非常に大きな難しい問題になると思うため、委員からご提案があったように、建設業協会などと意見交換をして、どういった支援が行政にできるのかというところを考えていかなければいけないと考えている。
--	---

<p>ような状況で、裏にはそういった人口問題、雇用環境の問題もあるが、できる範囲で工夫していただきたい。</p> <p>(4) 統廃合に伴う厳木中学校改修電気設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 512万円という予定価格の時に、入札する側はどのような考え方で入札するのか、ということを確認したかった。受注意欲が高ければ、400万円台での応札があるのではと思ったが、400万円台はない。では500万円ちょうどがあるかと思えば、それもない。入札して、予定価格より10万円安くなったということが本当に入札なのだろうか、(競争が働いているといえるのか) と思った。 ● これは既存校舎の電気設備の改修工事で、受注意欲がそれほど高くなかったのかもしれないが、今回の統合は児童の減少によるものか。 ● 厳木中学校はどうなるのか。小中が一つになるのか。 ● 校舎は何年に建ったのか。 ● 委員からは落札率がもう少し低くてもよいのではというご意見が出ているが、小学生中学生が快適な環境で学べるということは喜ばしいことだと思う。現在はギガスクールの取り組みが進められていて、全員がパソコンを使用して勉強しているようだが、そのための工事はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童減少のため、厳木中学校に2つの小学校を統合することとしている。 ○ そのとおりである。 ○ 手元に資料がないため建築時期なお答えできないが、平成30年に大規模改造工事を行い、外壁改修と内部の改修、防水工事は終わり、きれいにリフォームされたかたちで現在、学校は使用している。 ○ ギガスクールに対応するための整備は完了している。
--	--

<p>(5) 鎮西スポーツセンターテニスコート人工芝改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入札金額がすべて4,065万円ということは、人工芝の値段が一緒だったからだろうか。5、6年以上前の話ではあるが、当時、90%ぐらいで揃ったことがあったかと思うが、あの頃は同額入札というのが多かった。 ● 砂入り人工芝とあるが、どのようなものか。 ● 人工芝は指定の製品があるのか。 ● 最低制限価格は事前に公表していたのか。 ● 全社が最低制限価格と同額で応札したということか。 ● そういうケースを見ると、最低制限価格の(金額の)相当性がどうなのかなと思ってしまう。 ● 品質を維持するための金額のラインがあると思うが、もしかしたらもっと安くても施工可能だったということかもしれない。しかし、事前に実際どのぐらい広さに対してどの程度の金額がかかるかということは積算しているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下地はアスファルト舗装で、その上に、基布にポリエチレン製などの人工芝を密に編み込んだものを張っていく。人工芝は工場製作品になる。 ○ 今回の案件については、SAGA2024国スポの練習会場になるため、大会会場で使用している人工芝と同一の物で施工している。 ○ 事前に公表している。 ○ そのとおりである。 ○ 予定価格はスポーツの専門業者から見積等を徴取して設定はしているが、今回の工事が4,500万円という予定価格に対して実工期は工期が4か月半ほど、実際その4か月半の中で2か月半以上が人工芝の工場製作期間になるため、実際に受注者の監督員が現場に出る期間は1か月弱程度ということで、金額に対して実働の工期が短いということで、恐らく事業者側の人件費があまりかからないというところで、各社応札意欲が高く、
---	---

<p>(6) 巖木多久共同浄水場電気設備更新工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 候補者は複数者あるのに、1者ということで疑問を持ったが、工夫していることはわかった。 ● (その他構成員として) 県内に本店や支店があるところはないのか。 ● 今回の共同企業体は、浄水場電気設備更新工事の実績があるということでよいか。 ● 入札参加要件の緩和について、今後検討することがあれば、今回の質問の趣旨を踏まえてご検討いただきたい。 ● 電気設備は室内にあり、資料にある写真を見る限り、非常にきれいに保たれていると思うが、法定耐用年数20年、目標耐用年数35年と資料に記載されているが、実際は37年経過しているということで、そのあたりはどう考えればよいのか。本来であれば目標耐用年数の35年で交換しなければいけないものを37年 	<p>最低制限価格での入札になったのではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (多くの事業者に応札してもらうために) 県内に本店や支店を置く業者をその他構成員とすることも考えられるのかもしれないが、そうなってしまうと代表者もその他構成員も市外本店業者ということになる。その他構成員の要件を満たす市内本店業者が一定数ある以上、契約管理課としては、その他構成員の要件を拡げるという判断は行わなかった。 ○ 入札参加要件として、自社で設計、製作し、納品した実績を代表者に求め、その事業者と市内の電気工事業者とで組んでいただき、市内事業者の技術力の向上を図るということも、共同企業体での施工の大きな狙いである。それを踏まえて、その他構成員は市内本店業者とした。 ○ ご意見として参考にしたい。 ○ 法定耐用年数は、ご承知のように減価償却の耐用年数であり、実際にもつかもたないかというのをこの法定耐用年数に係数を掛けて算出している。実際の係数は法定耐用年数掛け1.75倍を行い、35年という目標耐用年数を定めている。当然ながら更新時期は目標耐用年数より数年間は前後するもので、
--	--

<p>になってしまったのか、それとも使用環境によっては37、8年もつものなのか。</p> <p>● これまでメンテナンス程度で、大きな故障もなく稼働したということか。</p> <p>(7) レトルト食品（防災備蓄用）</p> <p>● 見積で出した金額よりも、実際の入札の際は、もっと低い金額で入札したということか。</p> <p>● それでいいのだろうか。</p> <p>● これは、同等品をどう考えるのか、ということだと思う。同等品について、唐津市として品質基準をどのように設定しているのか。参考見積をとったものが同等であるということだが、それが本当に同等であるかというのがはっきりわからない。</p> <p>● 文具や、新庁舎移転の際に購入したパーティーションなどもメーカー指定ではなく、（レトルト食品の件と）同じような発想で行っているのか。</p>	<p>同時期の更新施設数や事業費に偏りがある場合は、目標耐用年数の近辺で事業の実施を均一化することもあり、結果としてちょうど35年で更新とはならなかったというものである。一方、屋内にある施設で、状態はきれいに保たれてはいるが、重要な電気設備ということで目標耐用年数を35年と一応設定している。その他の大きな要因として、浄水場全体の稼働を市としては70年と見込んでおり、35年で更新すると、1回の更新で70年間使えるということで、そこに目標を定めている。</p> <p>○ 細かい修理はもちろん行っているが、全体的に更新するというのは今回が初めてになる。</p> <p>○ そのとおりである。</p> <p>○ 一定の仕様を提示しているので、その使用を満たしていれば同等品とみなすということで、入札通知にも書いている。まず入札通知の際に記載している参考品以外のもので見積りをする場合は、物品の発注担当課に、こういう品物で入札の見積もりを行うという承諾を得てもらい、その後、入札してもらうようにしている。</p> <p>○ 文具の場合は、3メーカーぐらいでグループ分けをして、そのメーカーが扱う品番のものを指定し、その中から入札する業者に選んでもらい、入札を行った。</p>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ● ということは、品物まで特定して行っているということかと思うが、食品については、色々あるので、そのあたりはどうだろうか。 ● これは何年間備蓄するのか。賞味期限7年ということは、その前までということか。 ● 5年間のうちに使用しなかった場合はどうなるのか。結構金額がかかっているようだが。 ● 賞味期限は切れていないため、防災関連の催しの時にどんどん使うというのはいいかもしれない。 ● この商品は、カレーピラフを調理せずにお湯にも何も入れない、電子レンジでの温めもないということか。 ● 冷蔵保存でなく、常温保存ができるのか。真空パックなどで。 ● 今年の夏の暑さを考えると、大丈夫だろうかと思う人もあるかもしれないが、無駄にすることなく活用されているということだと思う。同等品の見積基準は、曖昧な点もあるように思うが。 <p>(8) 令和5年度唐津市プレミアム付商品券発行事業運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2回目の販売状況はどうだったのか。2回目 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画としては5年スパンを基本としている。もちろん5年にこだわるわけではないが、一つの目安として5年間を考えている。 ○ 活用の事例として、賞味期限の約1年前までにいったん1つの区切りをとり、そのタイミングで例えば自主防災組織が防災訓練などを実施する際の炊き出しの材料などとして活用を考えている。 ○ 防災備蓄食にはこういうものがあるという啓蒙や広報としても活用している。 ○ 今回の商品は、そういうもの（何も調理しないもの）を選定している。もちろんほかの備蓄品にはお湯を入れるなど、簡単に手を加えるものもある。 ○ そのとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 12万セットを1回につき6万セットず
--	--

<p>は電子商品券だけだったと思うが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2回目の募集の際は、1人当たりの応募可能口数が1回目と比べて随分増えたと感じた。1人何口か正確には覚えていないが、そこまで広げていいのだろうか、と思った。そのあたりはどうなっているのか。 ● 最終的に延べ何人が購入したかわかるか。 ● 対象は唐津市民か。 ● この人数というのは結構な人気があったということだと思う。25%のプレミアムだから好評だったのだろう。 ● 今、国ではプレミアムの割合が低いものを出そうかという話をしていると思う。プレミアム商品券事業を実施した際に、どういう人が購入しているのか、裕福な人が大口で購入しているのではないか、そうであれば、事業の目的として、例えば生活に困っている人に多く購入してもらいたいと思うときに、果たしてその方向に動いているのか疑問である。経済を活性化させるという点ではプラスになっているとは思いますが、何回もやっていると、本来購入してもらいたい人が買っていないように思えた。やらないよりやったほうがいいとは思いますが、個人消費が 	<p>つ、2回募集している。2回目は、1回目の残りと合わせて6万9,380セットに対して申込受付を行った結果、約11万ほどの申込みがあっており、1.6倍の倍率になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年も同様の事業を実施しており、その際も同じような状況で、去年は最終的に1人25セットまでに設定した。今回は去年の状況を考慮して、市としては予定枚数を少し超える程度ということで2回目の見込み数を算出して、1人15セットと設定したが、結果的には少し、見込みとしては甘かったと思っている。 ○ 当選者は、第1回販売で購入した人が約1万400人程度。第2回販売は、当選者が6,127名出ているため、全員が購入された場合、全体で1万6千強の人が延べ人数で商品券を利用されることになる。 ○ 唐津市民である。
---	--

<p>落ちているという状況の中で、非常に厳しいと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小規模でもいいので、実際にどのように使われたか、検証作業をしてみてはどうか。 ● どこで使われたかは分かると思う。 <ul style="list-style-type: none"> ● 日用品の購入に多く利用されているようである。 <p>(9) 唐津市沖洋上風力発電事業に関する理解促進事業委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この事業は、昨年度も同様の業務委託があったと思うが。 ● 昨年度の業者はどこか。 ● 報告書は出来上がっていると思うが、実施内容は良かったのか。効果はあったのか。 ● 今年は(3)若年層向け環境学習等の実施と書いてあるが、唐津市では学校教育課にも共有しているのか、そのあたりも受託業者が行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際どこで使われているかというデータをとっている。また、購入者や事業者に対してアンケートも実施し、結果を把握することとしている。商品券の使用については9月までの状況として、1億1,000万円ほどが利用されている。内訳は、スーパー、コンビニが3,200万ほど、ドラッグストア、家電が2,200万ほど、ホームセンター、日用品が650万ぐらいである。 <ul style="list-style-type: none"> ○ そのとおりである。 ○ 昨年は株式会社N T Tデータ経営研究所である。 ○ セミナー参加者のアンケートによると、概ね理解できた、理解できた、という回答を多数いただいている。 ○ 当然、関係する課といろいろ協議、相談をしながらこういったものやっていくところを考えている。小学校、中学校、高校を計画している。
--	--

<p>● 以前は市の職員が奔走してやっていたことを、コンサル会社を使って行うということで、市としてきちんと監督する必要があると思う。若年層向け環境学習については、小中学校もわざわざ出かけて行かなくても、タブレットなどで一斉にやることもできるのではないかと思う。</p>	
--	--